

テーマ	中間試験（I）：2級受験者用						
学籍番号							氏名

1. K4工場の次の資料に基づき、当月の仕掛品勘定および売上原価勘定の記入を完成しなさい。なお、月初仕掛品は製造指図書No.1で、¥1,000,000であった。No.1、2は当月完成し、No.1は顧客に引渡し済みである。（80点：8点×10）
〔資料〕

(1) 材料

材料の消費額は、予定価格を用いて計上した。予定価格は@¥450とした。なお、実際消費額は、先入先出法によって計算している。

月初棚卸高 800kg (@¥500)

当月消費高 4,200kg

内訳 直接材料：3,000kg (No.1：400kg、No.2：1,600kg、No.3：1,000kg)

間接材料：1,200kg

当月購入高 3,720kg (@¥430)

月末棚卸高 300kg

棚卸減耗 20kg ※1 通常発生する程度

※2 棚卸減耗は**実際価格**を使用して算定すること

(2) 賃金

賃金の消費額は、予定賃率を用いて計上した。予定賃率は@¥1,200とした。

月初未払高 ¥750,000

当月支払高 ¥4,600,000

月末未払高 ¥600,000

作業時間 3,700時間

内訳 直接工直接作業時間：2,500時間

(No.1：800時間、No.2：1,000時間、No.3：700時間)

間接作業時間：1,200時間

(3) 外注加工費

月初未払高 ¥300,000

当月支払高 ¥2,150,000

月末未払高 ¥150,000

当月消費高 ¥2,000,000

内訳 No.1：¥400,000、No.2：¥1,000,000、No.3：¥600,000

(4) 減価償却費

年間 ¥1,200,000

(5) 製造間接費

製造間接費は、各製品の直接工直接作業時間を基準に各製造指図書に予定配賦した。なお、当月の製造間接費は、¥2,000,000と見積もられている。

テーマ	中間試験 (I) : 2 級受験者用					
学籍番号						氏名

2. 資料にもとづき、第 1 次配賦は相互配賦法、第 2 次配賦は直接配賦法によって、下記の補助部門費配賦表を完成しなさい。(20 点 : 4 点×5)

〔資料〕

配 賦 基 準	合 計	切 削 部 門	組 立 部 門	材 料 倉 庫 部 門	動 力 部 門	工 場 事 務 部 門
動力供給量(kW/h)	2,000	1,200	700	100	—	—
材料出庫額(万円)	100	40	50	—	10	—
従業員数(人)	184	70	94	8	12	—

テーマ	中間試験 (I) : 2 級受験者用					
学籍番号						氏名

1.

仕 掛 品

月初有高 ()	当月完成高 ()
当月製造費用 :	月末有高 ()
直接材料費 ()	/
直接労務費 ()	
直接経費 ()	
製造間接費 ()	
計 ()	
()	

売 上 原 価

製品 ()	材料消費価格差異 ()
賃率差異 ()	損益 ()
製造間接費配賦差異 ()	/
()	

2.

補 助 部 門 費 配 賦 表

費 目	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切 削 部 門	組 立 部 門	材 料 倉 庫 部 門	動 力 部 門	工 場 事 務 部 門
部 門 費	1,800,000	752,730	602,350	80,000	272,000	92,920
第 1 次 配 賦						
工場事務部門費						
動力部門費						
材料倉庫部門費						
第 2 次 配 賦						
動力部門費						
材料倉庫部門費						
製 造 部 門 費						